

多自然川づくり取り組み事例

タイトル：大阪ふれあいの水辺(自然再生ゾーン)～地域と連携したエコアップ～		
水系/河川名：淀川水系/大川(旧淀川)	河川分類：都市河川	
河川の流域面積：288km ²	整備計画流量：120m ³ /s(W=1/100)	セグメント：3
事業：環境整備	事業開始年度 平成21年度	
目標設定：定性的	段階：D(実施・施工時)	
課題・目的(主な)：水環境改善、水際域の保全・再生・創出、湿地、ヨシ原の保全・再生・創出		
工法(主な)：置土(土砂投入)、移植、植樹、管理用道路の整備、管理ルールの設定		
配慮事項(主な)：河川景観への配慮、委員会、協議会等の開催		

背景・課題、目標設定

<背景>

水都大阪の新たな魅力づくりのため、“人と水辺の絆の復活”～心に響く都心のオアシス～を基本コンセプトに大阪ふれあいの水辺事業を開始。大阪ふれあいの水辺事業は、これまで大阪の都心部にはなかった、府民が直接川に触れられ、水辺でスポーツやくつろぎを感じることでできる「砂浜ゾーン」(平成24年3月完成)と、自然を体感でき、水辺の動植物の観察などができる「自然再生ゾーン」(平成30年1月完成)を整備するものである。今回は、大阪ふれあいの水辺事業のうち、「自然再生ゾーン」の計画立案から工事完成、その後の利活用に至るまで住民参加型で進めてきたプロセスを発表する。

<課題>

事業地である一級河川大川の貯木場跡地は、昭和40年代後半の貯木場閉鎖からほとんど手を加えられていないため、都心でありながら、多様な水辺形状が残っており、生物相も非常に豊かな環境である。昭和50年代には、周辺は公園整備が進んだが、貯木場跡地では水難事故やブルーテントなども多かったため、地域の方は、良い印象を持っておらず、あまり目を向けることもなく、寄り付かない場所であった。

<目標>

豊かな環境の保全だけでなく、動植物の観察や学習など、人が寄りつき利活用できる空間の創出を目指す。また、整備後、地域が進んで清掃や花植えなど行ってくれる、地域の「大阪ふれあいの水辺ファン」の獲得を目指す。

取り組み内容・対策例

<取組内容>

事業を進めるにあたっては、地域との対話を心がけ、計画段階から工事完成まで、誰でも参加できるワークショップを合計15回開催し、地域の意見を取り入れながら進めてきた。工事実施の段階では、近隣住民や大学生や高校生、専門学生を対象に、事業箇所の「歴史」や「生態系」を学んでもらい、水生生物の生息環境の保全作業を一体となつて行い、大阪ふれあいの水辺への関心と愛着を持ってもらった。



鋼欠板による垂直護岸



水生生物の生息場の拡充と保全
(ヨシ植栽)



住民参加型ワークショップで
計画・設計(計15回)



コンクリートによる無機質な護岸



クロベンケイガエ生息場の
エコアップ(落差解消・土砂置換)



地域協働でエコアップ
(浸食防止)

モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

<アピールポイント>

- ①住民目線の整備構想に学識経験者の知見を加え、大阪ふれあいの水辺の生き物に優しい整備内容と施工方法を考え、工事発注と地域協働と連携して実現。
- ②結果、近隣学校2校と利活用に関する覚書を締結。現在、学校の環境授業やクラブ活動で、生物観察後、自主的に清掃や草引き等を行ってくれている。

<今後の展開>

- ①地域の小中学校へ利活用を促し、知ってもらい、使ってもらい、学んでもらう。
- ②砂浜ゾーンの利用者と連携し、大阪ふれあいの水辺全体で「地域参加型」イベントを開催し、更なる地域の「大阪ふれあいの水辺ファン」獲得を目指す。



地引網で生物調査
(近隣学校主体で実施)

備考

問い合わせ先 大阪府西大阪治水事務所 水都再生課
電話番号 06-6541-7772

大阪ふれあいの水辺（自然再生ゾーン） ～地域と連携したエコアップ～

Keywords : 環境保全, 地域連携, 利活用（維持管理）

Before



鋼矢板による垂直護岸



コンクリートによる無機質な護岸



After



水生生物の生息場の拡充と保全
（ヨシ植栽）



クロベンケイガニ生息場の
エコアップ（落差解消・土砂置換）



住民参加型ワークショップ
で計画・設計（計15回）



地域協働でエコアップ
（浸食防止）



思い出づくり

水都大阪の新たな魅力づくりとして“「人と水辺の絆の復活」～心に響く都心のオアシス～”を基本コンセプトに進めている大阪ふれあいの水辺事業のうち、自然を体感でき水辺の動植物の観察などができる空間「自然再生ゾーン」の整備について、計画立案から工事実施、その後の利活用（維持管理体制構築）に至るまで、住民参加型で進めてきたプロセスを紹介する。